特別養護老人ホーム 楽寿荘

【 運営規程 】

(事業の目的)

第1条 社会福祉法人楽寿会が開設する、特別養護老人ホーム楽寿荘（以下「事業所」という）の適正な運営を確保するために、人員及び管理運営に関する事項を定め、利用者が可能な限りその人らしく、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排せつ、食事等の介護、その他の日常生活上の世話及び利用者の心身の機能の維持改善を図り、できる限り、在宅復帰を目標に介護福祉施設サービスを提供することを目的とする。

(運営の方針)

第2条 事業所は、施設サービス計画に基づき利用者の心身の状況を踏まえて、日常生活上の世話、心身の機能の改善、健康管理等のサービスを提供する。

2 事業所は、利用者の人格を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努める。

3 事業所は、明るく家庭的な雰囲気有し、地域や家庭との連携を重視し、関係市町村、地域の保健・医療・福祉サービスを提供事業者と連携してサービス提供に努める。

(事業所の名称)

第3条 事業を行う事業所の名称及び所在地は、次のとおりとする。

【名称】 特別養護老人ホーム 楽 寿 荘

【所在地】 福島県いわき市四倉町上仁井田字横川67番地

(職員の職種、員数及び職務内容)

第4条 職員の職種員数及び職務内容

1.	管理者	1名	(兼務)	事業所全般を統括・管理
2.	医師	1名以上	(非常勤)	利用者の診察
3.	生活相談員	2名以上	(兼務)	利用者の相談業務に従事
4.	介護支援専門員	2名以上	(兼務)	施設ケア計画の作成・管理
5.	介護職員	40名以上	(兼務)	利用者の生活介護業務に従事
6.	看護職員	4名以上	(兼務)	利用者の看護及び診察の補助
・機能訓練業務に従事
7.	機能訓練指導員	1名以上		利用者の機能訓練業務に従事
8.	管理栄養士	1名以上	(兼務)	利用者の栄養指導・給食業務

- に從事
9. 調理員 5名以上（兼務） 利用者の給食業務に從事
10. 事務員 3名以上（兼務） 事務業務に從事
- 前項に定めるもののほか、必要に応じてその他の職員を置くこととする。

(営業日及び営業時間)

第5条 事業所の営業日及び営業時間は、次のとおりとする。
日曜日から土曜日（年中無休） 24時間営業

(利用者の定員)

第6条 事業所の利用定員は次のとおりとする。
入所定員 110人

(施設サービス介護の内容)

- 第7条 介護サービスの内容
- 1 食事・入浴・排せつ等の介護及び機能訓練
 - 2 前項以外の利用者が必要とする日常生活上の世話

(利用料及びその他の費用)

- 第8条 利用料及びその他の費用
- 1 利用料（自己負担分） 介護保険負担割合証に基づく割合
 - 2 その他の費用 法定代理受領分以外の料金
 - 3 食費 1日 1,445円
但し、食費について負担限度額認定を受けている場合は、認定証に記載している食費の負担限度額とする。
 - 4 居住費 1日 915円
 - 5 理美容代 散髪+顔剃り 2,500円
散髪のみ 2,000円 髭剃りのみ 1,500円
※居室で施行される場合は一律 2,500円になります。
 - 6 日常生活上で通常必要となるものに係る費用であって、その利用者に負担させることが適当と認められるものの実費

(利用者の留意事項)

- 第9条 利用者の留意事項については、次のとおりとする。
- 1 利用者及び代理人は、その身上や重要な事項に関して変更が生じたときは、速やかに管理者に届け出なければならない。

2 利用者は、施設内の秩序を守り管理者の示す事項について遵守しなければならない。

(サービス提供の留意事項)

第 10 条 サービス提供にあたっての留意事項

サービス利用者の有する能力に応じ自立支援と機能の維持改善を図るため適切な援助を実施する。

(緊急時における対応方法)

第 11 条 緊急時における対応方法

利用者に病状の急変及びその他必要なことが生じた場合は、速やかに主治医又は協力医療機関へ連絡し、指示を受ける等の措置を講じる。

(非常災害対策)

第 12 条 非常災害対策

地域の環境及び利用者の特性に応じて、非常災害に関する具体的計画を事前に立案、自動火災報知機、スプリンクラー設備等の法的設備を完備し、消防計画、緊急時対応マニュアル等により、利用者の生命を第一に、避難、誘導の対応をします。

(感染症対策)

第 13 条 感染症対策

当事業所は、感染症の発生及び蔓延等に備え、定期的な委員会の開催、指針の整備、従業者に対する研修、訓練を行います。

(業務継続計画)

第 14 条 業務継続計画（BCP）に向けた取り組み

感染症や災害が発生した場合にあっても、利用者が継続してサービスの提供を受けられるよう、サービスの提供を継続するための計画、及び非常時の体制で早期の業務再開を図るための計画（以下「BCP」という。）を策定すると共に、当該 BCP に従い、従業者に対して、必要な研修及び訓練を定期的実施します。

(事故発生時の対応)

第 15 条 事故発生時の対応

利用者に関わる事故が発生した場合は、健康、生命を第一に必要な処置を講ずるほか緊急連絡先等ご家族の方、保険者（いわき市）に速やかに連絡するとと

もに、事故原因、事故状況、内容等を調査し報告いたします。事業者の責に帰すべき事由により、利用者の生命・身体・財産に損害を及ぼした場合は、利用者に対し、その損害を賠償いたします。

(高齢者虐待防止)

第 16 条 高齢者虐待防止法の推進

当事業所は、利用者等の人権の擁護・虐待の防止等のために、次に掲げる通り必要な措置を講じます。

- (1) 事業所における虐待防止のための指針を整備します。
- (2) 虐待防止に関する責任者を選定しています。
- (3) 成年後見制度の利用を支援します。
- (4) 苦情解決体制を整備しています。
- (5) 定期的に虐待防止対策を検討する委員会を開催し、従業員に対する虐待防止を啓発・普及するための研修を実施します。
- (6) 事業所はサービス提供中に、当該事業所従業員又は養護者（利用者の家族等高齢者を現に養護する者）による虐待を受けたと思われる利用者を発見した場合は、速やかにこれを市町村に通報するものとする。

虐待防止に関する責任者 佐藤英介

(身体拘束等の適正化)

第 17 条 身体的拘束等の適正化の推進

身体的拘束の更なる適正化を図る観点から、以下の内容に留意します。

- (1) 利用者又は他の利用者等の生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束を行いません。
- (2) 身体的拘束等を行う場合には、その態様及び時間、その際の利用者の心身の状況並びに緊急やむを得ない理由を記録します。

(その他、運営に関する重要事項)

第 18 条 その他、運営に関する重要事項

- 1 地域住民又はその自発的な活動等との連携及び協力を行い、地域との交流を通し当該事業の円滑な運用に努める。
- 2 家族との連絡を密にしてコミュニケーションを心掛ける。
- 3 ボランティアの受け入れを通し生活に潤いを持たせる。

(細則)

第 14 条 この規程に定める事項のほか、運営に関する重要事項は、社会福祉法人楽寿会と事業所の管理者の協議に基づいて定めるものとする。

附 則

この規程は平成 12 年 6 月 1 日より施行

平成 15 年 4 月 1 日より施行

平成 17 年 10 月 1 日より施行

平成 27 年 8 月 1 日より施行

平成 30 年 4 月 1 日より施行

平成 31 年 4 月 1 日より施行

令和 1 年 10 月 1 日より施行

令和 6 年 4 月 1 日より施行

令和 7 年 4 月 1 日より施行 理美容代変更